

# 20th ANNIVERSARY



## 北海道フットサル連盟20周年を迎えて！

「いつでも、どこでも、だれとでも」このわかりやすい言葉にフットサルの魅力は凝縮されており、フットサルの普及発展を通してあらゆる世代の人々の心身の健康、体力の向上及びスポーツの振興を掲げて活動してきた北海道フットサル連盟は、20年の節目を迎えました。

競技の発展や各種大会の実施に労を惜しまず活動してきた皆様と喜びを分かち合うとともに、ご支援いただきました関係者の皆様に深く感謝いたします。

そのお陰もあり、北海道では冬の間サッカーに代わる競技として普及してきたフットサルは、だれもが親しめるスポーツに成長しました。シニアからキッズまでが、仲間と一緒に家族で、時には会ったばかりの人達とチームを組んで大いに楽しむなど、身近なものとなっています。こうしたすそ野の広がりに支えられ、Fリーグで活躍するエスポラーダ、妹分のイルネーヴェを頂点に、男女の北海道リーグそしてブロックリーグも順調にシーズンを重ねてきました。

全国的なフットサルの広がりと技術の向上もあり、大きな大会で常に上位に立つのは難しくなっていますが、19年シーズンには男子の選抜大会で準優勝と3位を占めるなど、各種の大会で”フットサル先進地”的輝きを示しています。ピッチで躍動する選手はもちろん、昼夜を問わず休日も裏方として汗を流す大勢の人々が支えてきた20年の歴史です。

北海道フットサル連盟は2012年に一般社団法人に移行しました。これからも組織の体質強化を図りながら、フットサルの普及と競技力の向上を通して北海道のスポーツ文化の振興に寄与すべく活動して参ります。

ご支援いただきました皆様に感謝するとともに、今後のご協力をよろしくお願い致します。



一般社団法人北海道フットサル連盟前会長 田嶋 真一郎